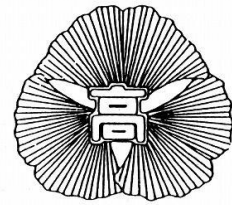


和国通信 平成29年 12月号

# Courage, Heart and Belief



## 師走の和国

校長 伊藤 正志

冬を迎えて、和国自慢の「中庭」は、赤、黄、緑の見事なコントラストで見応え十分です。みづのき祭のとき装飾される芝生も枯葉色になり寂しくなりましたが、落ち葉とのコラボがとてもきれいです。春夏のウキウキするような景色から少し物悲しい景色になっています。ベンチで昼食をとる人影もなくなり、木枯らしが寂しさを増しています。（たくさんの落ち葉を毎日きれいに掃除してくれている業務さんには感謝です）

3年生は、受験の追い込みの時期に入りました。教室には「センター試験まであと〇〇日」と書かれています。校長室には「〇〇大学に合格しました」と早々と報告に来てくれる生徒も出てきました。生徒たちの「がんばる姿」を見守りながら「今年の和国も充実していたな」と考えています。先生たちは、相変わらず忙しく、まさに「師走」をむかえています。

2学期もいろいろなことがあり、大きな行事を経験した生徒たちは、また大きく成長してくれたものと確信しています。1つ残念だったのが、2年生のグアムへの修学旅行が中止になってしまったことです。世界情勢が緊張を増す中、和国生としてはしっかりと現状を認識しながら、国外に旅立つことを過度に躊躇することなく、冷静に安全を確保しながら実施していくという考え方を身に付けてもらえたらいいなと思っています。

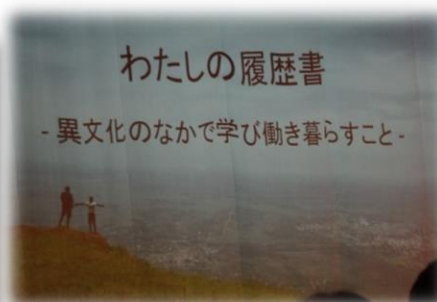
..... **One day, one challenge.**

### 【国際理解講演会 ～和国アカデミア～】

平成29年11月21日（水）

演題：「私の履歴書～異文化のなかで学び働き暮らすこと～」 講師：神崎 千穂さん（本校外国語科卒業）

神崎さんは本校を2008年度に卒業し、青年海外協力隊をはじめとする、国際交流活動に取り組んで来られました。講演は高校時代の部活や英語の授業の話からスタートしました。和光国際高校で学んだからこそこの今がある、という言葉をいただきました。その後、アジア体験コンテスト、青年の船などに参加された体験を、進路の決定と共に話していただきました。東日本大震災をきっかけに、人を助ける仕事をしたい、ということで青年海外協力隊に応募し、ウガンダに派遣されました。どのように農業を定着させたかなど、興味深い逸話を聞き、生徒も自分たちの先輩が世界で活躍していることで、将来を考えるきっかけになったようです。



## 【かけはしプロジェクト】

平成29年11月8日～15日

「対日理解促進交流プログラム」別名カケハシ・プロジェクトに本校が選抜され、アメリカ・ニューヨークにて8日間の視察、交流を行いました。23名の生徒が旅費政府負担で、アメリカを訪れました。

ニューヨーク総領事館や国際連合本部の訪問を始め、エリス島ではアメリカの移民の歴史を学びました。また訪問校では高校生の日常生活のプレゼンテーションを通して、日本の食べ物から、お風呂に入る習慣、学校での英語教育などを紹介しました。

現地の高校生や短大生、大学留学生との交流により、より深く日本文化を認識することができたという感想が、最終報告会で発表されました。生徒の研修成果は近々ホームページに掲載予定です。



## 【創作ダンス発表会:1年生女子】

平成29年11月16日(木)

1年生女子の体育の授業の一環として、毎年ダンス発表会が行われています。各クラスで一丸となり、テーマに合わせた曲を選び振付を行い発表するものです。今年のテーマは「和」。2学期が始まった9月からクラスで「和」をどう解釈し表現するかを検討してきた成果です。その内容は、どのクラスも苦心してまとめてきた様子があり、改めて創作ダンスの素晴らしさを実感しました。1位:3組、2位:2組、3位:4組。



## 【頑張ってます、部活動】

ESS（英語劇）部です。春と秋、1年にわずか2作品。ひとつに半年をかけ舞台化。シナリオ、衣装、大道具、小道具、照明、音響、振付け、全て全部員で手掛けます。そうして完成した難解なテーマ作品 "The Choice" が第52回埼玉県英語劇大会において会長杯（優勝杯）をいただきました。どんなに追い込まれても、めげることなく喰らい付いていく。部員達の粘り強さが受賞へと導きました。



『ぼんやりと浮かんだ雲のように　さまよいたいと　思った頃から  
遠くささやく　おまえの声　いつも私を　ささえた  
いつかきっと　おまえのように　飛んでみせるよ　私も』  
（カルメン・マキ&オズ「空へ」より）

よいお年を！  
教頭 岩崎広巳